

2020年度三郷サンサンハウス事業報告

(2020年4月1日～2021年3月31日)

I 事業実施の方針

[1 はじめに]

多くの業種がコロナ禍の影響を受けた2020年は、サンサンハウスも例外ではありませんでした。感染対策及び予防に気を配りながら、継続的に必要な支援を届けられるように各事業所が努力を続けましたが、残念ながら休業を余儀なくされた期間もありました。

黒字決算を目指し、各事業所とも目標達成に取り組みました。経営的には若干ではありますが、収益を確保することが出来、難しい環境の中、成果を上げることができました。

A.1 年間の取り組み

○事業所単位だけでなく、法人全体での経営改善を目指し、目標に到達できるよう努力しました。

○支援の困難な利用者に寄り添い、希望に沿った在宅介護ができる環境を整えていきました。

B.経営改善への取り組み

○前年度までに比較すると、職員の協力を得て、サービスの低下をすることなく人件比率の削減を実現することができました。まだまだ厳しい状況の中ではありますが、少しずつ改善の傾向が見られました。

○研修のいくつかは環境的に開催することが困難でしたが、初任者研修や認知症サポーター養成研修といった、介護職員としての基本的な資質を育成できるものを開催しました。

C.地域との関わり

○地域との関りを縮小せざるを得ない一年でしたが、サンサンニュースの継続的な発信により、事業所の様子を伝えることができました。

[2. 特定非営利活動に係る事業]

(1) デイサービスセンターあかねの里 (介護保険法に基づくデイサービス

A.1年間の取り組み

事業及び第1号通所事業)

○コロナ禍の中、変化があれば都度ご家族にあかねの里の情報を発信し、コロナ対策の取り組みについても報告をしてきました。12月に感染者が出ましたが保健所とも連携を取り、ご家族の協力を得ながら対応が出来ました。

B 経営改善への取り組み

○11月までは延べの利用者数が平均して安定していたのと、人件費が削減で

きたので黒字となりました。12月に自粛期間が約2週間あったため赤字となり、1月以降も感染症対策の利用控えが何名もあり厳しくなっています。

- コロナ禍により外部研修・内部研修を見合わせました。
- 職員が日々連携をはかりながら情報を共有し、利用者に寄り添ったケアが出来たと思います。

C.地域との関わり

- コロナ禍により、サポーター養成講座・運営推進会議が出来ませんでした。

(2) デイサービスセンターくるみ（介護保険法に基づくデイサービス事業及び第1号通所事業）

A.1年間の取り組み

- 昨年はコロナの影響で自宅での生活を余儀なくされ、運動不足になりやすい状況でした。外出や運動をする機会の減少は身体機能だけでなく精神面でも悪影響を及ぼします。今ある体力や気力を途切れさせず自宅での生活が続けられるためにもデイサービス事業を継続しなくてはならないとの使命感で、国からの様々な助成や町からの物資支援を受けながら、感染症対策を行って、必死で開所してきました。
- くるみの役割は運動による身体機能の改善はもちろんのこと、脳活性化や精神的、身体的機能の維持改善に役立つ機能訓練を行うことです。楽しく継続することができ、心配や不安が和らぐよう、利用者との信頼関係づくりを基本に、楽しい時間の創造・共有に努めました。

B.経営改善への取り組み

- 総合事業において、昨年度の心身機能の維持向上を評価され今年度も「事業所評価加算」を取得でき、機能訓練特化型のデイとして今後も自信を持ってその役割を果たしていきます。
- 職員の育成においては、本人の目標と事業所として担ってほしい姿を明確にして取り組み、事業所の質の向上につながっています。働きながら資格を取得できた職員もおり、職員一人一人が個性を発揮しながら、丁寧な対応と優れた介護技術を身につけ、利用者に喜んでいただける事業所を目指しました。

C.地域との関わり

- 地域においては、コロナの影響で、昨年度はデイあかねの里とデイくるみとの合同の運営推進会議は開催できませんでした。
 - 介護保険外事業として昨年度より開始した「くるみ style」は感染症対策を万全に整えた中で運営してきました。介護保険事業「くるみ style」においても感染症対策を行いながら開催しました。
- ともに、利用者には出かけることができなかつた時期に身体機能向上や健康維持、精神面でも支えになったと満足いただき、どの年齢の方にも必要とされていること

を実感しました。

(3) ヘルパーステーション (介護保険法に基づく訪問介護事業及び第1号

A.1年間の取り組み 訪問事業)

○利用登録者は100名以上で、月平均で合計69名前後(内訪問ヘルパー利用者は45名、介護タクシーのみは24名)の利用がありました。1ヶ月の各支援の平均回数は、身体介護中心型が119回、生活援助が257回、介護タクシーが102回でした。

○最期は自宅で過ごしたいとの思いで、入院先から自宅へ戻られてから支援を開始された利用者が4名いました。

なじみの家に帰りたいという望みを叶え、安心して自宅で過ごすことができるよう、医療と連携しながら本人や家族の不安や負担を軽減するように努めました。

B.経営改善への取り組み

○新型コロナウイルスの流行により、不安感からの利用控えがありました。

感染予防の取り組みの内容を利用者や家族あてに随時発信しました。

助成金を活用し、感染予防の備品や消耗品を揃え、対策を継続しています。

状態に応じた介護技術の習得など、よりよい支援ができるように研修を行いました。

○非常勤ヘルパーを3名採用しました。内2名は他職種の副業あり、1名は70代のため、3名とも週1回程度の訪問ですが、介護ソフトの活用により利用者状況の把握などの連携を確実にを行い活躍してもらいました。常勤2名(管理者、サービス提供責任者)、非常勤9名(ヘルパー8名、ドライバー1名)で活動しています。

C.地域との関わり

○連携する居宅支援介護支援事業所は14社、30人以上のケアマネージャーから依頼を頂いています。情報共有をしっかりと行い、地域での役割を担ってきました。

(4) 小規模多機能ホーム萌の里 (介護保険法に基づく小規模多機能型居宅

A.1年間の取り組み 介護事業)

○2020年度は、世界的な感染症の予防などの対策を、模索する日々でした。

国からの助成金を活用し、密にならないように環境を整備しました。

○利用者数においては、年度初めは、看取りの方や体調を崩され入院になる方が数名いたことから14名と利用者が減少してしまいました。年度中頃より利用者数18名と増加しました。

○職員不足は、法人内の他事業所からの応援をうけ利用者を支援することができました。

B.経営改善への取り組み

○働きやすい環境づくりにおいては、職員同士の連携・コミュニケーションが活発に行われ、職員同士で意見交換できやすい環境になりました。

- 毎月の会議の時間も短縮せざるをえない状態が続き、内部研修も十分に行えませんでした。
- 外部への研修が中止されることも多い一年でしたが、オンラインでの研修に3回参加することができました。
- 運営推進会議は開催することができず、活動報告書を作成し文書報告とさせて頂きました。

C.地域との関わり

- 2020年度は世界的な感染症の拡大で、人とのかかわりに制限をしないとイケない状態が続きました。例年当たり前に行えていた地域とのかかわりを行うことができず、積極的なかかわりが難しい一年でした。そんな中でも、地域で開催された体操など感染症対策を行いながら、短時間の参加をしました。

(5) 居宅介護支援事業所(介護保険法に基づく居宅介護支援事業)

A.1年間の取り組み

- 利用者や地域に信頼され、安心してケアマネージメントを任せてもらえるよう日々の業務や訪問、連絡調整に真摯に取り組みました。
- コロナ感染予防・拡大防止のための環境対策においては、各事業所と協力しながら取り組みました。
- 実際コロナ感染という初めての事態に直面し、緊急的ケアマネージメントにおける初動の重要性を痛感し、感染拡大させないためのその後の対応について各管理者と連携して取り組みました。(緊急対策チーム立ち上げ)
- コロナ禍で生活に不自由、不便さ、不安を感じている利用者の意向や気持ちに寄り添い、よく聴いて、適切な支援していくよう努めました。

B.経営改善への取り組み

- 利用者担当件数100名を維持することで、当事業の経営収支も黒字となるよう取り組みました。
- 利用者の中の事業対象者や要支援者が、要介護者へと介護度が上がっていくケースが徐々に増えていく中、それらの人が在宅生活を継続するための支援にじっくり関わっていく取り組みが必要となりました。

C.地域との関わり

- 二か月に一件くらいの頻度で地域包括からの新規利用者の紹介や依頼が入り、それが地域包括との連携や情報交換の良い機会となっています。
- 地域の人たちからの電話や来所による相談には積極的に応対し、丁寧に困り事や要望を聞くよう努めました。
- 居宅の利用者約100名が、現在、介護保険サービスを使っており、サービスの連絡調整をして行くうえで、それぞれの事業所との連携を密にとり、良好なケアマネージメントができる関係作りに取り組みました。

**(6) ヘルパーステーション(障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援
A.1年間の取り組み するための法律に基づく障害福祉サービス事業)**

○利用者最大4名でしたが、入所と死亡により2名減で、現在は不定期の家事援助1名、通院介助1名の合計2名が利用中です。

B.経営改善への取り組み

○訪問は介護保険のヘルパーが兼務で行っています。送迎と院内介助が必要な通院介助は常勤職員で対応しています。障害の特徴についての理解や知識を深め、細やかな支援ができるように努めました。

○介護保険の訪問介護利用者で、難病があり区分支給限度額を超える支援が必要だったため、ケアマネージャーと相談し、障害福祉サービスで必要な支援ができるように申請を行い訪問しました

C.地域との関わり

○連携した特定相談支援事業所は 2 社ですが、介護保険のケアマネージャーからの問い合わせもあり、高齢障害者への支援の必要性を感じました。

**(7) 特定相談支援事業所(障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援す
A.1年間の取り組み ための法律に基づく特定相談支援事業)**

○管理者1名、相談支援専門員2名(いずれも居宅と兼務)の体制。

○4名の利用者。それぞれの計画作成・モニタリングを行っています。就労施設との担当者会議設定、ハローワーク(障害者枠の就労)への同行、入院先の病棟看護師への情報提供等、ケアマネージャーと同様の支援を行いました。

(8) 介護保険法に基づく訪問看護事業 今年度の実施計画なし

(9) サンサンサロン(自立支援事業)

A.1年間の取り組み

○サロンのスローガンである「ホッと一息憩いの場」であるように心がけてきました。それぞれが興味のある物、編物や手芸を楽しみながら過ごしてただけました。

○サンサン体操は、認知症予防の脳トレゲームです。皆さん間違っただけでは笑い、出来た!と言ってはとても満足して嬉しそうに笑う。楽しみながら過ごしています。

○麻雀サロンでは、男性が3名加わり、8名の利用者で、皆さんそれぞれで作戦を考えながら自然と脳活性化につながっていきました。

しかし、コロナ禍の影響で今年の3月から休業、いまだに再開できていません。

B.経営改善への取り組み

○ホームページを毎月更新。利用者の様子を報告しました。

C.地域との関わり

○毎年、三郷町の文化祭に参加、夕陽ヶ丘診療所の健康祭りに参加していましたが、コロナ禍の影響で、残念ながら中止になりました。

○事務所では、常時手作り作品を販売し、好評をいただき嬉しいです。

(10) 高齢者の家あかねの里（共同住宅事業）

A.1年間の取り組み

○介護技術向上のため講習に参加しスキルアップに取り組みました。

○毎月の会議と申し送りノートに加え、気付きノートを作成し情報共有を行い職員一人ひとりが責任感を持ち支援することが出来ました。

B.経営改善への取り組み

○職員の人員不足を萌の里からの支援や他の事業所からの応援で補うことが出来ました。

C 地域とのかかわり

○共同住宅はボランティアの方、気軽に立ち寄って下さる地域の方の訪問を楽しみにしています。

○ご利用者と一緒に清掃活動に参加しました。

(11) 24時間生活支援事業（たすけあいの会）

A.1年間の取り組み

○今年度の利用者は15名で、内10名は介護保険サービスも併用しています。家事援助や保険外の入浴見守りの定期利用が6名その他は不定期で大掃除やゴミ出し、通院付添、月平均では7名、23回程度の利用がありました。

B.経営改善への取り組み

○訪問ヘルパーやサンサンハウスの職員が兼務して活動しました。体調や生活での困りごとの相談に対しての助言を行うなど、介護事業所のメリットを活かした支援を行いました。

C.地域との関わり

○積極的な営業活動はしていませんが、サンサンニュースで見た地域の方から依頼を頂きました。

○介護保険では担えない部分の支援を行えるため、近隣事業所のケアマネージャーの問い合わせや、介護保険利用者からの依頼が多く、困ったときのよりどころになれるよう心掛けました。

(12) ボランティア育成及び広報・研修事業

A.1年間の取り組み

- 当法人の理念や介護に対する考え方、各事業所の活動内容をお知らせするために広報活動の要として、ボランティアの協力を得ながら、サンサンニュースを年3回、各6,000部を三郷町とその近隣の地域に配布しています。職員募集にも役立てることができ、応募をいただきました。
- 例年行っていたボランティア親睦会は開催できませんでしたが、日頃の感謝の気持ちを込めて、新年にご挨拶と記念の品をお渡ししました。

B.経営改善への取り組み

- ホームページを通じて、各事業所の活動を毎月お知らせしました。事業所の具体的な内容を知っていただけるツールとして、積極的な活用ができました。

C.地域との関わり

- 本部建物前の掲示板や窓にパネルを貼ることで、当法人の活動内容を近隣地域の皆さんにお知らせしています。

(13) 福祉タクシー（外出支援事業）

A.1年間の取り組み

- 送迎は介護保険利用が主で、保険外の福祉タクシー利用回数は月平均2回程度でした。
- 助成金の活用で、空気清浄機やパーテーション設置など、感染予防対策の車内整備を行いました。
- 利用ごとの清掃、消毒、換気を徹底し、安全に気持ちよく利用いただけるよう努めました。

B.経営改善への取り組み

- 普通自動車二種免許と介護福祉士資格を持つドライバー1名、登録車両1台で送迎を行いました。安全運転と安心できる乗降介助技術で、また利用したいと言っただけのような対応を心掛けました。
- 利用は予約制ですが、近隣のケアマネージャーや病院からの依頼があるとは、可能な限り緊急利用にも対応しました。

C.地域との関わり

- 三郷町、平群町、王寺町のタクシー券が利用できるため、地域の方からの依頼がありました。

(14) 給食サービス事業 今年度の実施計画なし

(15) グループホーム事業 今年度の実施計画なし

(16) 地域交流支援事業

A.1年間の取り組み

- サンサンサロンの手作りの品を利用者及び地域の方々が楽しみにしています。
収益はサロンの利用者のために使っています。
- 本部建物フロアで、利用者作の写真や絵画、貼り絵などを展示しています。

C.地域との関わり

- 手づくり品や展示品等親しみやすいフロアの設定で、入りやすい雰囲気ができ、地域の方がちょっと困った時に立ち寄っています。

[3. その他の事業]

(1) 物品販売事業

A.1年間の取り組み

- 地元産の新鮮な野菜やお茶、カレンダーなどを継続して販売しました。

C.地域との関わり

- 安価で新鮮な野菜を提供することで、利用者や近隣の方に喜ばれています。

Ⅱ 事業の実施報告に関する事項

〔1. 特定非営利活動に係る事業〕

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従業員の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出見込額(千円)
介護保険法に基づく デイサービス事業及び 第1号通所事業	認知症対応型デイサービス	通年	デイサービスセンター あかねの里 (東信貴ヶ丘1-5-12)	8	三郷町周辺の 認知症高齢者 延べ1,700人	21,001
介護保険法に基づく デイサービス事業及び 第1号通所事業	機能訓練型デイサービス	通年	デイサービスセンターくる み(東信貴ヶ丘1-2-27)	8	三郷町周辺の 要介護者 延べ2,000人	11,338
介護保険法に基づく訪問 介護事業及び第1号 訪問事業	訪問ヘルパーの派遣サービス	通年	要介護者の自宅	12	三郷町周辺の 要介護者 延べ800人	15,447
介護保険法に基づく小 規模多機能型居宅介 護事業	通い・訪問・泊りのサービスで 利用者の在宅生活を1日24時 間365日を支援	通年	小規模多機能ホーム萌の 里(三郷町三室2-5-22) 及び利用者の自宅	25	三郷町周辺の 要介護者 延べ210人	42,210
介護保険法に基づく 居宅介護支援事業	相談援助及び介護支援計画作 成	通年	要介護者の自宅	3	三郷町周辺の 要介護者 延べ1200人	9,681
障害者の日常生活及 び社会生活を総合的 に支援するための法律 に基づく障害福祉サー ビス事業	障害者の自立支援のための サービス提供	通年	要介護者の自宅	3	三郷町周辺の 要介護者 延べ30人	437
障害者の日常生活及 び社会生活を総合的 に支援するための法律 に基づく特定相談支援 事業	障害者の自立支援のための相 談支援	通年	要介護者の自宅	3	三郷町周辺の 高齢者 延べ20人	145
介護保険法に基づく訪問 看護事業	ケアプランによる訪問看護	今年度事業計画なし		0		0
自立支援事業	介護保険外の介護予防デイ サービス	週3回	サンサンサロン (美松ヶ丘東1-10-9)	1	三郷町内の高齢 者延べ330人	713
共同住宅事業	住宅型有料老人ホーム	通年	高齢者の家あかねの里 (東信貴ヶ丘1-5-12)	8	三郷町内の要介 護高齢者 延べ72人	7,342
24時間生活支援事業	高齢・障害・疾病・育児・出産 等で支援が必要な人への24時 間支援事業	随時	利用者の自宅	8	三郷町周辺の 利用者 延べ80人	285
ボランティア育成及び 広報・研修事業	地域住民や介護従事者等を対 象にした介護技術や知識等の 研修事業	通年	三郷町周辺	5	三郷町周辺の 住民不特定多数	287
外出支援事業	要介護・要支援・身心障害者 等の通院等の移送支援	通年	利用者の自宅から病院等 外出目的地	1	三郷町周辺の 高齢者等 延べ20人	29
給食サービス事業	楽しい会食、配食で在宅高齢 者の食生活を支援する	今年度事業計画なし		0		0
グループホーム事業	認知症高齢者を対象としたの 共同住宅	今年度事業計画なし		0		0
地域交流支援事業	地域の人々の要望を取り入れ た交流の場の提供	通年	萌の里あづまや(三郷町三 室)、デイサービスくるみ (三郷町東信貴ヶ丘)	10	三郷町周辺の 住民不特定多数	487

〔2. その他活動に係る事業〕

物品販売事業	新鮮・安全野菜や食料品、手 作り品などの販売。 収益は非営利活動に充当。	通年	事務局ホール(三郷町東 信貴ヶ丘1-2-27)	4	三郷町周辺の 住民不特定多数	92
--------	--	----	----------------------------	---	-------------------	----